

【現代語訳】

端宗 （おおもと、祖神の端の意）

人々の神道しんどうに対する質問に短く答えよう

陰陽二つの、目に見えない神の働きに従って、
事象は留まることなく宇宙全体に生み出される。

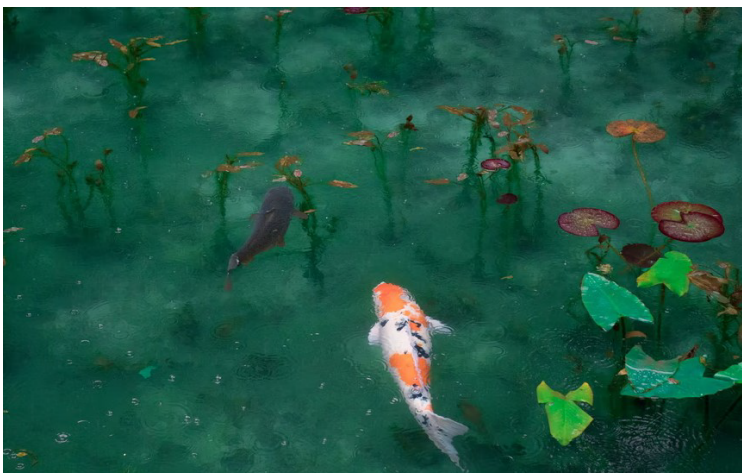
多くの人々を教化する我が伝道の使命は、
この神の意志に由来するのだ。

惟神（かみながら）と書くこの二字は、
創造主から発出されたものである、と。

大中臣 正秉（易淵 揮毫印）

令和四年二月七日

大中臣正比呂 拙訳



補注

みまさかのくに

美作国上福田に生まれた芳村正秉は、長じて勤王の志士となつたが、明治維新後は修行を積んで、天皇の祭祀を司る大中臣家の末裔の自覚を持つに至る。そして、伊勢神宮に祭られている倭姫命の靈示により「神習教」と宣し、開祖となった。